

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第2回社会教育委員会	
開 催 日 時	平成27年2月25日（水） 15:00～	
開 催 場 所	宍粟市役所 4階 402・403会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 宗平 圭司      副委員長 清水 滋子	
委 員 氏 名	（出席者） 宗平圭司・宮脇昭介・中村美代子・大前千里 清水滋子・小池正明・土居正明・近江素文 山木康子・福岡久蔵・志水修・坂東亨・清水兼男	（欠席者） 田谷尚生
事 務 局 氏 名	西岡教育長、岡崎部長、榎谷次長 （社会教育課）田路課長、牛谷、柴原、原、菊元、大谷 亀井、大砂、藤井	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・社会教育課（平成25年度）事務事業評価の報告、千種B&G海洋 センタープール改築構想（案）、機構改革に伴う社会教育事業の補助 執行の説明を行う。	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、宍粟市社会教育振興計画、社教情報、追憶ふるさと宍粟写 真集、同第2集	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
15:00 開会	
事務局	開会。 田谷委員欠席報告
事務局	あいさつ。
委員長	あいさつ。
事務局	手元資料について確認。
委員長	報告及び協議の開始。
事務局	報告事項（１）社会教育課（平成２５年度）業務事業評価について報告。 資料２ページ、社会教育課事務事業評価について趣旨等の説明。 資料３～４ページ、目標１、２について説明。
委員長	●不明な点や要望など、ご意見をいただければと思います。 質問があるのですが、市民大学の登録者１７６名については、パスポートを発行している人数ですか？
事務局	◎パスポートを発行している人数です。
委員長	●高齢者大学の学生数１５５４人ですが、４町の大学を合計した数ですか？
事務局	◎合計した人数です。
委員長	●しそ青い鳥・くすの木学級の受講者数は全ての講座の参加人数の合計ですか？
事務局	◎標記を統一しておらず、申し訳ありません。全講座の参加人数を合計したものです。
委員長	●説明不足でわかりづらい点があれば、あわせて発言いただければと思います。２項目にわたってのご意見等があれば、いただきたいと思います。
委員	●今後の課題等に集約された部分についてです。 社会教育の振興基本計画については中途だと思いますが、宍粟市の総合計画については最終年度です。その中で社会教育の項目を見ると、たとえば市民大学は平成２５年時点の目標の登録者数が２５０となっていました。目標値などと

	一緒に併記していただくと、非常に判断しやすいと思います。
事務局	◎表記の方法については、また工夫させていただきます。
委員	●人口の少ない中で、様々な方法で社会教育に取り組んでいると思うのですが、学んでいる人たちを見ると、自己研鑽で行動が完結しているように感じます。基本計画をみると、学んだことを地域で活かせるようにとあるが、これが実行できていないと思うので、ネットワーク作りなど今後取り組んでいただきたい。
事務局	◎仰せのように学んだ人が地域に戻り、リーダーとして動いていただくのが理想ではあります。それが実行できているとは言えないので、今後の課題だと思います。
委員	●参加者が減少する傾向にあるとありますが、その原因は何だと思われますか？
事務局	◎人口の減少が一因だと思われます。
委員長	●評価委員会の議題でも意見があがったのですが、団塊の世代の中で退職する人数が減ってきているようです。再任用、臨時任用で働かれている人も多く、地域等での活動へ流れていかないようです。
事務局	◎40、50代の人はまだ現役で働いていますし、60、70代でも働かれている人も多いため、影響があるのかもしれない。
委員	●自分の経験から、年齢を重ねると、外にでるのが億劫になる。人との関りで束縛されたくないという思いがある。現在だと、60代で高齢者大学へ入られる人も減っているのではないかと。統計したデータなどはありますか？
事務局	◎申し訳ありませんが、集約しておりません。
委員	●現在、高齢者大学に在籍しています。60歳で入り、10年が経過しました。その中で、この3年程度は顕著に入学者が減っています。役員の中で話し合い、学生間での自主的な活動も増やし、市役所のロビーで学生の作成した作品を展示するなど、人を呼び込めるよう工夫していますが、年々減っています。個人の意見ですが、宍粟の山崎町の場合、他の市町では中心になる公民館などの施設がありますが、そういったものはありません。地域へ還元するための中心となる場所を確保できず、苦勞している部分があります。  防災センターなどでも、各種団体が使用しているので、半年前から予約していないといけない時もある。クラブ活動の中では、講師のお宅を使用しているものもある。講師宅が遠方の場合だと負担になるので、廃部になったものもあります。

事務局	◎やまさき文化大学では現在22クラブが活動されています。学遊館でも貸館事業はしていますが、交通の便が悪いこともあり、積極的に活用されていない現状があります。
委員	<p>●先程の説明の中で、男性の参加者が少ないというものがありました。以前から思っていたのですが、高齢者大学の講座などの内容で、仕事や実業に関係のあるものが少ないと感じます。農林業や野菜作り、森林資源の活用といった講座はできないでしょうか。こういった講座なら、男性も興味をもって来られると思うので、検討していただきたい。</p> <p>山崎高校や県の森林事務所など講師をしてくださる方もいると思います。知り合いの中には、冬だと畑仕事などができず暇になると言っている人もいるので、そういった人たちを呼び込みやすい講座を考えてほしい。</p>
事務局	◎今後、検討させていただきます。
委員	<p>●資料の中で、学んだことを地域で活かせるようにとありますが、学校園所では地域の高齢者の人に年間通じて、様々な活動をしていただいています。それを数えれば、小中学校だけでも数百名は参加されています。地元の学校でも年間で50名は活動されていると思うので、それを実績として数えれば、十分に評価できるものになると思います。</p> <p>こういった講座があるということを知らせてもらえれば、また学校で子ども達に教えていただきたいです。</p>
事務局	◎学校と社会教育の連携も重要だと思いますので、情報交換ができればと思います。
委員長	●学校教育での課外活動での指導ですね？
委員	●地域ふれあいなど、学校で様々な講座を組んで行っています。現在でも、十分に講座数があると思いますので、評価していいと思います。
委員	●今のお話をきくと、社会教育と学校教育での横のつながりができていないと思います。
事務局	◎学校現場ですぐに講師を探せるように人材バンクのようなシステムを作れば、作成を検討したいと思います。
委員長	●現在でも、そのようなシステムはあるのでは？
事務局	◎そこまではできておりません。今までの関係から、お願いしている例が多い

	<p>と思いますので、そこを広げていけるように検討していきたい。</p>
委員長	<p>●わかりました。貴重な意見をありがとうございました。</p>
委員	<p>●個人の名前をだして悪いのですが、大谷さん（図書館館長）などは小学校などで、地元の人でも知らない郷土史の話をしていただいている。そして、子ども達が自分達で意見をまとめ、学習発表会などで掲示したものを地域の人が見たりしているので、こういったものも評価してよいのではないか。</p>
委員長	<p>●他に意見はありますか。</p>
委員	<p>●テレビなどでも様々な問題が取り上げられているが、社会教育として子ども達の心のケアに活かせるようなものがあればいいと思う。いじめの対象となった子が、自分の心をどこへ向ければよいのか迷っている部分があると思う。元々、親の役目とは思いますが、学校は勉強を教える場なので、親のケアも含めて活かせるものがあればいいと思う。</p>
事務局	<p>◎青少年の育成については学校教育課の所管となりますが、連携についてはまた考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>●今年度、大雪警報で学校が休みになることが多かったですが、急に子ども達が帰ってくると家が留守で対応に困ることがあったようですが、地域で何かできることがあれば良いと思いました。 土居先生、放課後子どもなども帰らせることになるのですか？</p>
委員	<p>●基本的に学童保育なども帰らせることになります。お叱りを受けるのですが、原則として帰宅させることになっています。</p>
委員	<p>●今年度だと、千種でも降雪がないのに警報が出され、帰るような状況になっていた。これだと安心して子育てができない状況に感じる。</p>
委員	<p>●ネットやメールで連絡がいくが、すぐには親が帰れない場合が多い。</p>
委員	<p>●中学校区で相談して、大雪警報がでてはいるが、山崎のこの地区では降雪がないので、すぐに帰らせる必要性はないと判断し、中学校では6時間目、小学校では5時間目まで授業して、警報が出ているので自宅までつれて帰るところまで対応しました。学童保育所は警報だと活動中止となるので、午後5時まで学校で預かる形としました。迎えにきていただいた保護者から学童だけでも活動してほしいと意見があったが、当初の約束事ですので、そのような対応となりました。ただ、大雨警報の場合は緊急を要する場合がありますので、すぐに迎えに来てくれるよう頼みます。しかし、大雪警報については、様子を見ながらの対応になっており、校区によって変わってくると思います。</p>

委員	●大雨や台風の場合は状況がわかりやすいが、まったく降っていない状況での大雪警報が何回かあったので、色々不満がでたと思う。
委員長	●学童保育も帰宅させるのですか？
委員	●そのようになっています。
委員長	●宍粟市では、学童保育の所管は教育委員会ですか？
事務局	◎そうです。
事務局	◎大雪警報についてですが、戸倉に観測所がありまして、そこで40センチの降雪があれば、気象庁から発令されます。宍粟の場合は非常に面積が広いので、但馬地域と同じく60センチの降雪での発令とならないか、気象庁にお願いしたいと思います。また、北部と南部、中学校のブロックで対応を分けられるようにしたいとも考えています。
委員長	●他に意見はありますか？
事務局	◎先程、中村委員の意見の中で、活動する場所を探すのに苦慮しているというものがありました。一宮、波賀、千種に生涯学習事務所があるのですが、公共交通が整っておらず、高齢者の方が苦勞される形となっています。ただ、現在、公共交通についても対応を考えており、ワンコインバスなどが実現できれば、状況が変わってくると思います。
委員	●それを活かすために、高齢者大学間で交流をもって、情報の共有が進められれば、有意義になるのではと思います。
委員長	●ありがとうございます。続いて、目標3、4について報告いただきます。
事務局	◎目標3、4について報告。
委員	●人権についてですが、内容については何十年も同じものが繰り返されていると思います。自治会と全体での生推協の活動で重なるものがあるので、全体で一本化してよいのではと感じます。
事務局	◎自治会と全体とで同じ話がされているという意見なのですが、両方に出席されている方が稀だと思います。同じ話でも何度も聞いていただく機会をつくるのが、人権の啓発につながると思います。今後の開催方法については考慮しますが、人権は一度お話を聞けばよいというものではありませんので、複数回聞いた人の方が人権感覚は磨かれますので、ご理解いただければと思います。
委員長	●人権学習につきましての課題は何でしょうか。

事務局	◎人権学習については硬いイメージがあり、参加者も固定化され、参加者自体が少数ということもききます。各生推協では他の行事と組み合わせての開催など、来ていただきやすい構造にしています。基本的には、まず出席していただくのが第一義だと思います。
委員	●たたら施設などが世界遺産になるようなことはないですか？ 千種地域でよく活動されている方がいらっしゃいますが、現存しているものも少ないですが。
事務局	◎千種を中心とした製鉄産業は重要なものだと思いますが、世界遺産とまですると、地域の方の地道な活動が必要ですし、千種や兵庫だけでは活動も難しいと思います。中国山地全体で活動が盛り上がりたと思います、それも難しい状況です。
委員	●現在のところ、宍粟にあるもので世界遺産として挙げられるのたたら製鉄だけかと思いますので、活用いただければと考えます。
事務局	◎地域の人に、まず資産として認識してもらうのが先決かと思います。地元で活動されている方もいますので、連携をとればと思います。
委員長	●県の重要史跡として認定されていませんか。
事務局	◎認定されています。
委員長	●重要な史跡ですし、今後活かしていければと思います。ご意見ありがとうございました。 続いて、目標5、6について報告いただきます。
事務局	◎目標5、6について報告。 大谷図書館長より、図書館業務について補足説明。
委員	●移動図書館のささゆり号についてですが、都多小の働きかけで、今までの学遊館から都多小まできてくれることになりました。今回は、すぐに対応していただき、地域住民も喜んでます。
委員	●図書館の登録者数が9000人ほどで、人口の約4分の1程です。たとえばですが、農業や家庭生活など、具体的な事柄に即したPRが必要ではないかと思います。 千種で独立の図書館を建設中ですが、工事中に要望があった場合、変更は可能ですか。
事務局	◎予算の都合もあり、難しいと思います。

委員	●もし、対応可能のものがあれば、聞いていただきたいです。
事務局	◎千種の図書館につきましては、昨年、検討委員会を設置し、地域の方にも委員に入っただき、提言をいただいています。その際のご意見は反映し、限られた予算の中で計画を進めています。今からの変更は難しいかと思ひます。
事務局	◎意見を全く取り入れないということではなく、対応可能なものについては検討させていただきたいと思ひます。
委員	●読み聞かせについてなのですが、しそチャンネルで流すことはできないでしょうか。
事務局	◎読み聞かせについては、その場で雰囲気を作り、子ども達を集中させて聞かせるのがよいかと思ひます。また、司書にも相談はさせていただきます。志水委員からの意見ですが、実用図書も図書館に多く所蔵しております。現状PRできてないこともありますが、知っていただければと思ひます。
委員長	●学校などへ、読み聞かせのPRはされていますか？
事務局	◎学校内に図書室がありますので、連携をとっています。学校の中で読書ボランティアの活用もしており、研修の場も設け、学校教育課にも担当の司書がいます。職員以外の方にも協力いただき、読書習慣を広げられるよう活動しております。
委員長	●スポーツの課題について、意見があればお願いします。
委員	●ロードレースについてですが、地元の三方で開催されているのですが、参加者は年々増えているのでしょうか？
事務局	◎細かい数字はわかりませんが、ほぼ横ばいだと思います。
委員	●少子化もありますが、横ばいということは、市外からの参加者が増えているということですね。駐車場についてなのですが、今年は一宮北中学校が早い段階で埋まってしまい、市外の人はどこに行けばいいかわからなくなっている場面がありました。駐車場確保について、また考慮があればと思ひます。
事務局	◎駐車場につきましては、係で検討したいと思ひます。
委員	●スポーツ推進委員が生涯スポーツ、体育協会で競技スポーツについて対応しています。生涯スポーツを充実するのが、市民の生活の充足に関わってくると思ひます。競技スポーツについては、東京オリンピックに向けて、皆さんにご協力いただきたいとおもいます。ただ、少子化と指導者の高齢化もあり、その



	あたりの調整が大事になってくるかと思います。
事務局	◎先程の質問のあった参加者についてですが、さつきマラソンもロードレースも安全面を考え、定員は決まっています。駐車場については、また検討したいと思います。
委員	●音水湖のカヌー場についてですが、全日本大会を開催できるような施設にしたいという話を県から聞きましたが、市としての環境整備や駐車場の確保など、相乗効果があるように協力をしていただきたいと思います。そうでなければ、いい結果につながらないと思います。
事務局	◎国道29号の活性化について、県や国交省とも検討しているところなのですが、その中で音水湖エリアについても今後の目標があり、6年後にマスターズの大会などもあり、整備を考えているところです。 関西インターカレッジの誘致も進めたのですが、H27年度は琵琶湖の開催となってしまいました。ただ、H28年度以降は場所を変えたいという意向もあるようで、またPRしたいと思います。また、今年度は秋に一般のスプリントの大会を開催します。
委員	●年々、文化活動をされる人口が減っていますが、これは世話をされる人が少なくなっているのもあると思います。市の職員、学校の先生などは、地域のことがわかり、世話をしやすい立場だと思えます。その人たちに、歴史や音楽など文化に関わってほしいです。そうすれば、お世話をお願いできると思います。このままだと、文化活動が終わるようになっていきます。退職された人たちに協力してほしいです。  4町それぞれで、陶芸の先生がおられるが、何度お願いしても、世話役を引き受けてくれません。陶芸をされている人は多いが、それぞれで活動されているので、統一されていない。 また、もみじ山の下に設えられている窯について、利用されていない。 各地でよい物を作られているが、全体を統括できる人がいない。
事務局	◎学んだことを地域で活かしてもらい、リーダーや世話役になってもらう人材の育成が社会教育の仕事だと思います。貴重な意見をありがとうございます。
委員長	●ご意見ありがとうございました。 続きまして、協議事項の(2)千種B&G海洋センターのプール改築構想(案)に移りたいと思います。
事務局	◎資料に沿って説明。
委員	●歩行用プールも考えていただいているので、良いと思います。腰や足の悪い方でも利用できる。地元の千種の人だけでなく、市内の人に利用してほしい。

	<p>高齢者と障がい者は無料となっていますので、利用しやすいかと思います。</p>
委員長	<p>●ありがとうございました。他にご意見がないようであれば、次の協議事項に移らせていただきます。</p>
事務局	<p>◎協議事項（3）機構改革に伴う社会教育事業の補助執行について説明。</p>
委員長	<p>●教育委員会の所管から外れるものが、ないように感じられるが？</p>
事務局	<p>◎たとえば、さつきマラソン等は現在、体育協会やスポーツ推進委員に手伝っていただき、職員として社会教育の者が準備に入っていましたが、職員について今後はまちづくり推進部に配置して実務にあたってもらいます。ただ、今後のスポーツ推進の方針については、教育委員会の所管となります。</p>
委員	<p>●何故、そのような形になったのですか？ 計画と実施が別々になるということですね。</p>
事務局	<p>◎実施については市長部局なのですが、計画や方針については教育委員会、社会教育委員になります。スポーツに関しては、実施も計画も全て市長が執り行ってよいという、そのような形に移行することも可能なのですが、今回はその段階までは進めず、方針については教育委員会や社会教育委員が関与して、実施については市長部局となります。以上がスポーツに関しての事となります。生涯学習については、各自治会でお世話をしてもらっており、自治会長の皆さんから生涯学習なのか地域づくり活動なのか、わかりづらいという意見がありました。現在、自治会活動についてはまちづくり推進部が所管しており、そこへ生涯学習事務所から職員を移し、まちづくり活動と生涯学習を統括しようということになりました。</p>
委員	<p>●生涯学習についてはまだ理解できるが、スポーツの移行についてはよくわからない。</p>
事務局	<p>◎スポーツに関して、競技スポーツの部分と地域で振興していただく部分があります。たとえば、さつきマラソン等で教育委員会の所管でもできるのですが、市外から多くの人に来ていただいて、商工会などの産業部門も一緒になり、イベントをすることで地域を活性化させようという狙いもあり、市長部局へ一括しようという流れになりました。スポーツを生涯学習の視点だけでなく、違う視点からも広めていこうという考えがあります。</p>
委員	<p>●さつきマラソンは定員があるので、これ以上の広がりはないのでは？</p>
事務局	<p>◎大会に参加する商工会などがあるので、その視点から広げていきたい。</p>
	<p>●商工会が参加するのはわかるが、運営の手伝いでは？</p>

委員	教育委員会の運営で行っていたものを、市長部局へ移すことで予算を減らせるなどのメリットはあるのですか？
事務局	<p>◎健康づくりや福祉の視点なども入れながら、スポーツへ市民に参加してもらい、市外からも参加してほしいということがあります。マラソンで言えば、姫路マラソンや東京マラソンのように、まちづくりの意味をこめた大会もあります。さつきマラソンに関してはキャパシティが限られているので、参加人数については今の2500人が限度かと思います。開催場所を変えれば、もう少し増やせるかもしれませんが、現在、そのような予定はないので、参加人数については今以上増えることはないと思います。</p> <p>まちづくりと地域づくり、ひとづくりを含めて、スポーツを市長部局で担ってもらうのは、県下の他の市町でも見られ、それも踏まえ、今回の組織改正となりました。</p>
委員	<p>●2500人という数字はわかりましたが、参加人数は増やすのではなく、市長部局にまとめて、自治会や商工会など関わる人数を増やそうということですか？ どこで開催してもよいが、利点が見えない。実施を市長部局にして、方針をきめるのが教育委員会のままにして、意味はあるのか。</p>
事務局	<p>◎参加人数についてはキャパシティが決まっているので、関わる人間の数を増やしていきたいという事があります。商工会だけでなく、色んなグループに参加してほしい。スポーツを通じて、まちづくりとひとづくりを一体的にしていきたい。</p>
委員	<p>●スタッフが今まで足りていなかったということか？</p>
事務局	<p>◎そういった広がりについて可能性があるなので、取組んでみたいと考えているところです。</p>
委員	<p>●青年部や商工会が今まで物販されていたが、特産品についてさらに広げていきたいということもあり、まちづくり推進部に任せたという部分もあるのだろうか。関りを大きくしようということもあるのか。</p>
事務局	<p>◎特産品の開発であったり、色々な部分もある。他のイベントでは健康づくりがメインで、健康福祉部との連携も必要となる。単純に、部局の横のつながりがあれば実現できるものではあるが。</p>
委員	<p>●補助執行の部分が理解しにくい。</p>
事務局	<p>◎計画も実施も市長部局のスポーツの係が担うが、方向性や権限については教育委員会に残るような形です。</p>
	<p>●ありがとうございました。最後の協議事項に移ります。</p>

委員長	
事務局	◎（４）社会教育委員の再任について説明。
委員長	●ありがとうございました。意見交換については、協議内で進めさせていただきましたので、省略します。
	閉会のあいさつを、清水委員からいただきたいと思います。
副委員長	●閉会あいさつ。

\* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。